

正誤表（達成状況評価）

32：一橋大学

No.	頁数	誤	正	修正事由
01	p.3	経営管理研究科経営管理専攻及び国際企業戦略専攻の両専攻において、国際認証評価（AACSB）取得に向けAoL（学修の質保証）のPDCAサイクルを通じた教育内容やカリキュラム等の見直しを継続的に実施し、	経営管理研究科経営管理専攻及び国際企業戦略専攻の両専攻において、 国際認証 AACSB International-The Association to Advance Collegiate Schools of Business (AACSB) 取得に向けAoL（学修の質保証）のPDCAサイクルを通じた教育内容やカリキュラム等の見直しを継続的に実施し、	AACSB 認証評価のガイドラインにて、最初の言及には正式名称の記載が求められているため
02	p.3	2021年7月に国公立大学としては初めてとなる国際認証評価（AACSB）を取得する等、質の高い教育研究を展開している（同機関の認証を受けたビジネススクールは、全世界のビジネススクールの6%未満(2021年7月現在)に限られる）。	2021年7月に国公立大学としては初めてとなる 国際認証 （AACSB）を取得する等、質の高い教育研究を展開している（同機関の認証を受けたビジネススクールは、全世界のビジネススクールの6%未満(2021年7月現在)に限られる）。	記載の統一のため
03	p.3	これらの取組が社会的ニーズに応えるものでもあることは、その志願倍率に表れている。（関連する中期計画 1-1-1-5, 1-1-2-4, 1-1-2-6, 4-1-5-2）	これらの取組が社会的ニーズに応えるものでもあることは、その志願倍率に表れている。（関連する中期計画 1-1-1-5 , 1-1-2-4 , 1-1-2-6, 4-1-5-2）	誤記載のため
04	p.17	研究面でも、2020年度に「四大学連合ポストコロナ社会コンソーシアム」	研究面でも、2020年度に「四大学連合ポストコロナ社会コンソーシアム」協	脱字のため

正誤表（達成状況評価）

		協定するなど、学際的な連携を強化した。新型コロナやポストコロナ社会に関する研究促進等を目的とする本協定に基づき、50年後の社会をテーマに多角的な議論を行う異分野融合研究会や学生対象のオンラインフィールドワークを開催するなどの成果を上げた。	定を締結するなど、学際的な連携を強化した。新型コロナやポストコロナ社会に関する研究促進等を目的とする本協定に基づき、50年後の社会をテーマに多角的な議論を行う異分野融合研究会や学生対象のオンラインフィールドワークを開催するなどの成果を上げた。	
05	p.18	これにより、国際・国内共同研究プロジェクト事業については、研究プロジェクト27件、政府統計匿名データ利用プログラム6件、参加型研究プロジェクト15件の合計48件を実施し、「国際・国内共同研究プロジェクトを35件以上実施する」とした年度計画を上回った。	これにより、国際・国内共同研究プロジェクト事業については、研究プロジェクト27件、政府統計匿名データ利用促進プログラム6件、参加型研究プロジェクト15件の合計48件を実施し、「国際・国内共同研究プロジェクトを35件以上実施する」とした年度計画を上回った。	脱字のため
06	p.20	2021年7月に経営管理研究科経営管理専攻及び国際企業戦略専攻の両専攻において、国際認証評価（AACSB）を取得した。	2021年7月に経営管理研究科経営管理専攻及び国際企業戦略専攻の両専攻において、国際認証（AACSB）を取得した。	記載の統一のため
07	p.22	◆	★ ◆	記載漏れのため
08	p.22	国際認証評価（AACSB）取得に向け、AoL（学修の質保証）のPDCAサイクル	国際認証（AACSB）取得に向け、AoL（学修の質保証）のPDCAサイクルを	記載の統一のため

正誤表（達成状況評価）

		ルを通じた教育内容やカリキュラム等の見直しを継続的に実施した。	通じた教育内容やカリキュラム等の見直しを継続的に実施した。	
--	--	---------------------------------	-------------------------------	--